

夏季人権教育研究公開講座

公開講座のお知らせ

岩手県立大学ソフトウェア情報学部講師

伊藤史人氏講演 視線入力を使って

「分かっていること」が
「わかる」から始める支援

参加費
無料

令和8年7月29日（水）

13:15 ~ 15:15

会場 鎌倉支援学校 体育館

対象 教職員、保護者、施設職員等



✓ 講演内容

一見、何もわかっていないような重度重複障害のある子どもでも、視線入力を試して見ると「わかっている」ことが「わかる」ことがあります。
テクノロジーのメリットは、可視化し客観化できることであり、「わかっている」ことが誰でも理解できる形で示すことができます。
「わかっている」ことが「わかる」と、まわりの人が変わります。支援者が希望を持つことができるのです。その結果、療育環境が改善し、かつ支援者のモチベーションが維持されることで、子どもの成長が促されます。
本講演では、いくつかの実例を通して視線入力等の効果を示し、具体的な取組方法についてもお話します。

✓ [注意事項]

公共交通機関をご利用ください。駐車場の開放はありません。
荒天等による中止の場合は本校HPでお知らせします。

お申込み・お問合せ

鎌倉支援学校

二次元コードからお申込みいただけます。

☎ 0467-45-1482

7月22日（水）締め切り

〒247-0075 鎌倉市関谷566

お申込はこちら

<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/kamakura-sh/>



講師プロフィール

伊藤 史人氏

岩手大学中退・岩手県立大学博士後期課程修了。博士（ソフトウェア情報学）。

一橋大学、島根大学を経て岩手県立大学ソフトウェア情報学部講師。

医療用画像処理で博士号を取得後、現在は視線入力等を活用した重度障害児・者の支援を行う。開発した重度障害者支援システムEyeMoTは、ほぼすべての特別支援学校等で活用される。主な受賞は、NHK日本賞（2017）・岩佐賞（2023）・吉川英治文化賞（2026）など。